

トマト新規就農者の所得向上

トマトは近年の就農者育成支援により、全体の1/3が就農10年以内と、世代交代が進んでいる。しかし、新規就農後特に1年目は単収が低く、心理的、経済的な負担を抱え、営農継続に不安を感じている。

活動内容

- ・研修生及び新規就農から5年以内の生産者を対象に、関係機関と連携し夜間ゼミを実施。
- ・当初(平成27年)は年9回の講座だったが、令和7年度は年18回と2倍に増加。
- ・毎年、内容を見直し、座学のみだった講座に現地視察を追加。研修生が、就農後の姿を想像できる内容に変更。



夜間ゼミでの講義



先輩生産者視察

成果

- ・研修生は新規就農1年目の課題を把握。
- ・過去と比較し、新規就農1年目の単収は増加。
- ・新規就農者(H29~R3)は、青年等就農計画に掲げた5年後の目標面積を、概ね達成している。
- ・今後も、青年等就農計画に掲げた目標を達成できるよう指導する。

